

栄光の軌跡

北部北海道中学生バドミントン大会（6月2日）
男子ダブルス 第3位

第14回名寄・士別地方中体連陸上競技大会（6月6日）
男子1年100m 第5位 男子400m 第6位
男子800m 第4位
女子3年100m 第6位 女子200m 第7位
女子1500m 第4位

名寄・士別地方中体連バドミントン大会（6月21日・22日）
男子団体 第3位
男子シングルス 第1位
女子シングルス 第2位
男子ダブルス 第5位

※4名が上川代表決定戦の出場権を獲得しました

資源回収へのご協力ありがとうございました。

6月8日（土）にPTA主催の資源回収を実施しました。地域・保護者の皆様のご協力により、合計で134,037円の収益金を得ることができました。また、回収にご協力いただきました細川商店様から、1万円のご芳志をいただきました。この収益金につきましては、学校の教育活動に活用させていただきます。



「緑の募金」へのご協力ありがとうございました。

合同運動会場で、生徒会から「緑の募金」の呼びかけをおこないました。皆様のご協力により22,569円の収益金を得ることができました。収益金については「北海道森と緑の会」に寄付され、自然災害などの被害を受けた森林の再生や、さまざまな緑化活動のために役立てられます。ありがとうございました。

7月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	月	朝会 教育実習生着任式	16	火	朝会 高校説明会
5	金	中体連管内大会	17	水	常任委員会
6	土	中体連管内大会	18	木	代議員会
9	火	校内研修	19	金	職員会議 巡回文庫
11	木	宿泊研修1日目	24	水	1学期始業式
12	金	宿泊研修2日目	25	木	2年学年レク
15	月	海の日	27	土	1年学年レク

士別市立多寄中学校 学校通信

たよろま

校訓 自主協同

第3号

令和 元年 6月28日発行

みんなの力で「願い」を形に

校長 林 真千子

今年は例年のない晴天続きで、小雨による農作物への影響も心配され、人も緑の草木も花壇の花たちも天からの雨を心待ちにする6月となりました。しかし、6月1日だけは「最後の小中合同運動会、子どもたちをグラウンドで思いっきり走らせたい。」「大空に全員でバルーンを放ちたい。」の一心で「晴天」を祈りました。

当日は、強風の中での開催となりましたが、多くのご来賓、保護者、地域の皆様にご来場いただき、大きな声援のもと子どもたちは全力で競技に臨むことができました。大縄跳び・中学生リレー・綱引きとどの競技も大接戦を繰り広げ、最後の4色リレーまで勝敗の行方がわからない白熱した戦いとなりました。運動会後のアンケートでも「各競技に真剣に取り組めたか」という質問に対して、「とてもよくできた」と生徒全員が回答していたことから、一人一人が「やりきった」という満足感を実感できる、運動会テーマ「全力笑顔で“つなぐ”多寄の伝統（バトン）」を達成できた運動会であったと思います。

また、運動会の閉会式の中では、多寄中学校閉校事業協賛会（神田壽昭会長）・事業部の皆様によるバルーンリリース（風船飛ばし）も、総勢160名の方に参加いただけて実施することができました。リリースした瞬間の全員から沸き上がる歓声、一斉に大空に吸い込まれていく色とりどりのバルーンを見上げる一体感、私の中にも言葉にできない熱いものが込みあげてきました。運動会での子どもたちの躍動する姿と共に、バルーンリリースは「多寄の歴史」として、みんなの心に確かに刻まれたと思います。先月号で学校通信に書いた私の二つの願いは、みんなの力で見事に「形」となって叶えられました。ご協力・ご支援いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、午後からの悪天候予報で進行を早める形での開催となったこと、バルーンリリースの時間変更を全戸に告知できず、せっかく足をお運びいただいた皆様に残念な思いをさせてしまったことを心からお詫び申し上げます。

この合同運動会に向けた練習の成果は、6月6日に行われた名寄・士別地方中体連陸上競技大会でも発揮されました。6つの種目で入賞を獲得するとともに、男子4×100mリレーでは女子初となる出場を果たし、女子を含む4名でバトンをつなぎ、会心の走りを見せてくれました。

続く21日・22日の中体連球技大会では、バドミントン男子シングルスで、圧倒的な技術力と精神力の強さを発揮し、見事第1位に輝きました。また、女子シングルスでは、決勝戦で敗れ第2位とはなりませんが、脅威の粘りで追いつき1点を競り合う拮抗した好ゲームに、会場から割れんばかりの声援と拍手がおくられました。また、男子ダブルスでは、大きなかけ声で自らを鼓舞し、第5位で上川代表決定戦への出場権を獲得しました。上代に出場する4名の皆さんには、全道大会進出を目標に、さらなる高みを目指してほしいと思います。一方、卓球部も3回戦まで勝ち進み、また、女子団体戦では2勝をあげる頑張りを見せてくれました。大会前後輩の練習相手になってくれたり、当日大声援で選手に勇気をくれた卒業生、保護者の皆様の力強い応援、全員の力で選手を支えていただいたことに心からお礼申し上げます。

中体連では自分の力を発揮できず悔しい思いをした人もいるかと思いますが、共に練習に臨んだ仲間、家族・卒業生・たくさん地域の方が自分を支え見守ってくれているということ、あきらめず努力を積み重ねてきたという事実が、これからの自分を支える大きな力となります。全員が自分に自信と誇りをもち、今後の人生の力に変えてほしいと思っています。そして「学校生活でさらなる成長の姿を見せてほしい!」。これが次なる私の「願い」です。



学校教育目標「豊かな心情をもち、根気強く、実行力に富む生徒の育成」

○思いやる広い心・徳育の気（徳育） ○たくましい身体・強靱の気（体育） ○確かな思考力・表現力・判断力・向上の気（知育） ○働くことをいとわぬ精神・忍耐の気（労育）

<めざす生徒像>

真心をもってやりぬく
たくましい人
よく考える人
ロマン豊かな人

重点目標「規則正しい生活をし、先々を見とおしながら、よく考えて行動できる生徒の育成」

今年度の重点目標を具体的な教育活動に！！

第11回多寄小学校・多寄中学校合同運動会（6月1日）

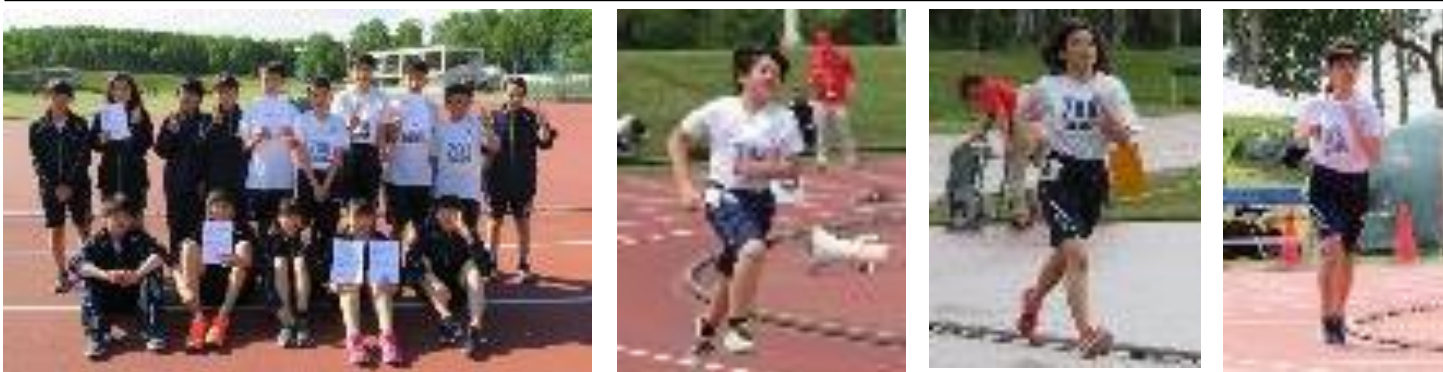
第11回の合同運動会は、多寄中学校として最後の運動会になります。天気予報では午後からの天候が悪く雷の予報も出ていたため、午前中に全ての種目を行いました。幸い雨にあたることも無く、生徒は精一杯に身体を動かして充実した運動会ができました。

また、当日は閉会式のなかで多寄中学校閉校事業協賛会によるバルーンリリース（風船飛ばし）を行いました。たくさんの保護者と地域の方にもご参加いただきました。ありがとうございました。



第14回名寄・士別地方中体連陸上競技大会（6月6日）

今年も1年生から3年生が参加しました。1人2種目に挑戦し、体育の授業で練習した成果を精一杯発揮できました。今年男子4×100mリレーに初めて男女混合で参加しました。4名の選手は放課後にもバトンパス等の練習を行いました。惜しくも入賞にはなりませんでしたが、僅差でゴールするなど、とてもよいレースでした。



士別地方・名寄地方中体連（6月21日～22日）

バドミントン部は名寄スポーツセンター、卓球部は美深町民体育館で競技が行われました。各部とも21日は団体戦、22日は個人戦が行われました。日頃の練習の成果を発揮し、一生懸命にシャトルやボールを追いかけました。卓球部は3年生が目標にしていた3回戦まで勝ち進み健闘しました。バドミントン部はシングルスとダブルスで計4名が入賞し、7月5日から旭川で行われる上川代表決定戦への出場権を獲得しました。



オリンピック教室（6月24日）

士別市で計画している「JOC オリンピック教室」が3年ぶりに本校で行われました。今年フィギュアスケートでバンクーバー大会に出場した「小塚崇彦氏」が来校しました。当日は小塚先生から様々な運動の実技や、講話ではオリンピックに大会に出場して得た貴重な経験を話されました。特にオリンピックの価値である「エクセレンス（卓越）」、「フレンドシップ（友情）」、「リスペクト（敬意）」は、普段私たちの日常生活の中でも活かすことができる大切なものであり、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることをみんなで学ぶよい機会になりました。

